

材料・材質

テクスチャ色の変更方法

すでにRIKCADに登録されている素材に新しく別の色を追加したい場合、付属ソフトの「レタッチ」を利用すると便利です。

今回は、茶色のレンガ積みを黄色のレンガ積みにする作業を行ないます。

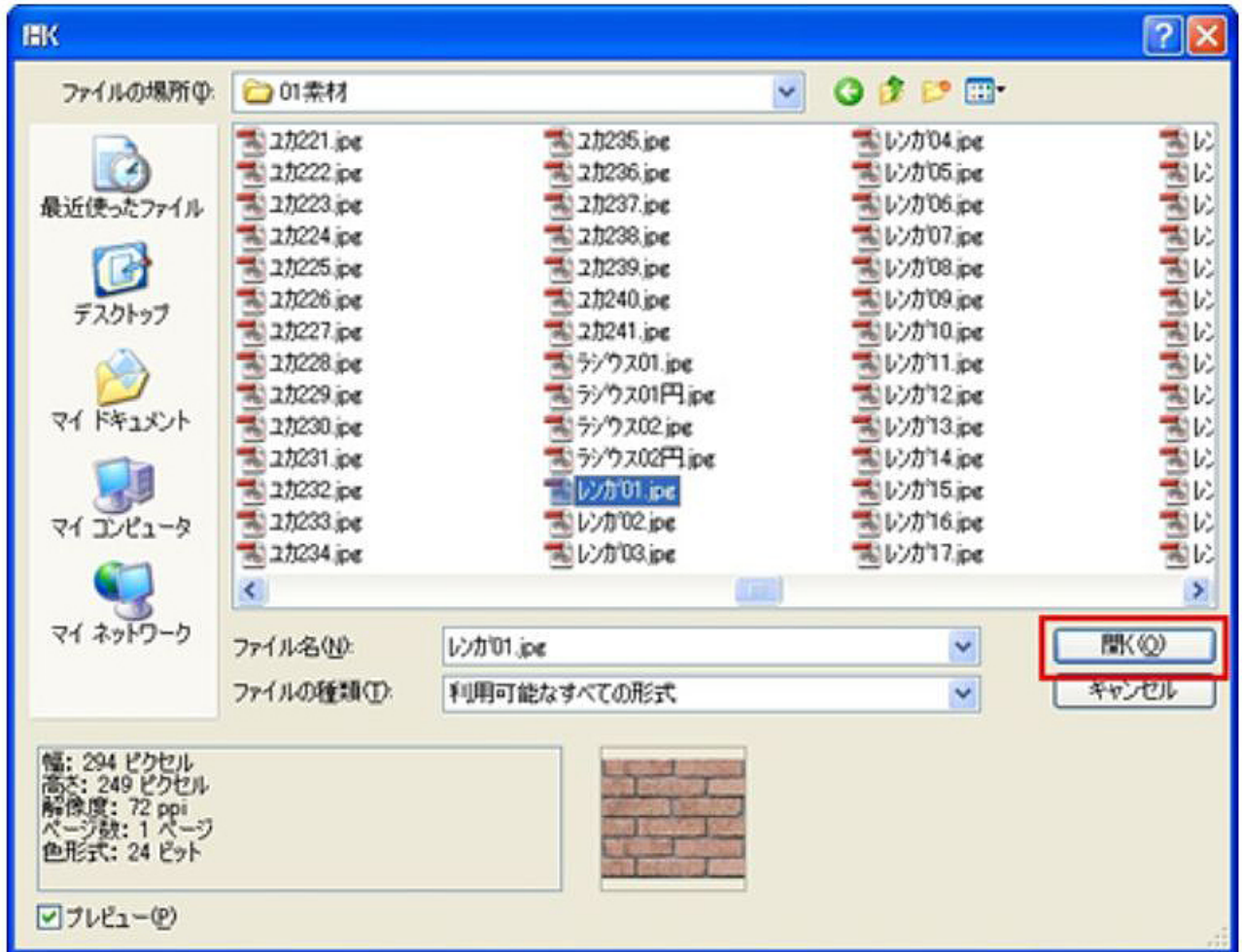


「レタッチ」を起動します。

処理の選択のウィンドウが開いたら、「既存の画像を開く」を選択します。

色を追加したい画像を選択して、「開く」をクリックします。

材料・材質



今回は
、「RIKCAD
7」 「RIKCAD21ライブラリ」 「テクスチャ」 「01素材」 から、レンガ01を選択します。

取り込んだ画像はツールボックスの中の



「ズームツール」を選択し、画像上で左クリックすると拡大、右クリックで縮小されます。

次に、



材料・材質

「マジックwandツール」

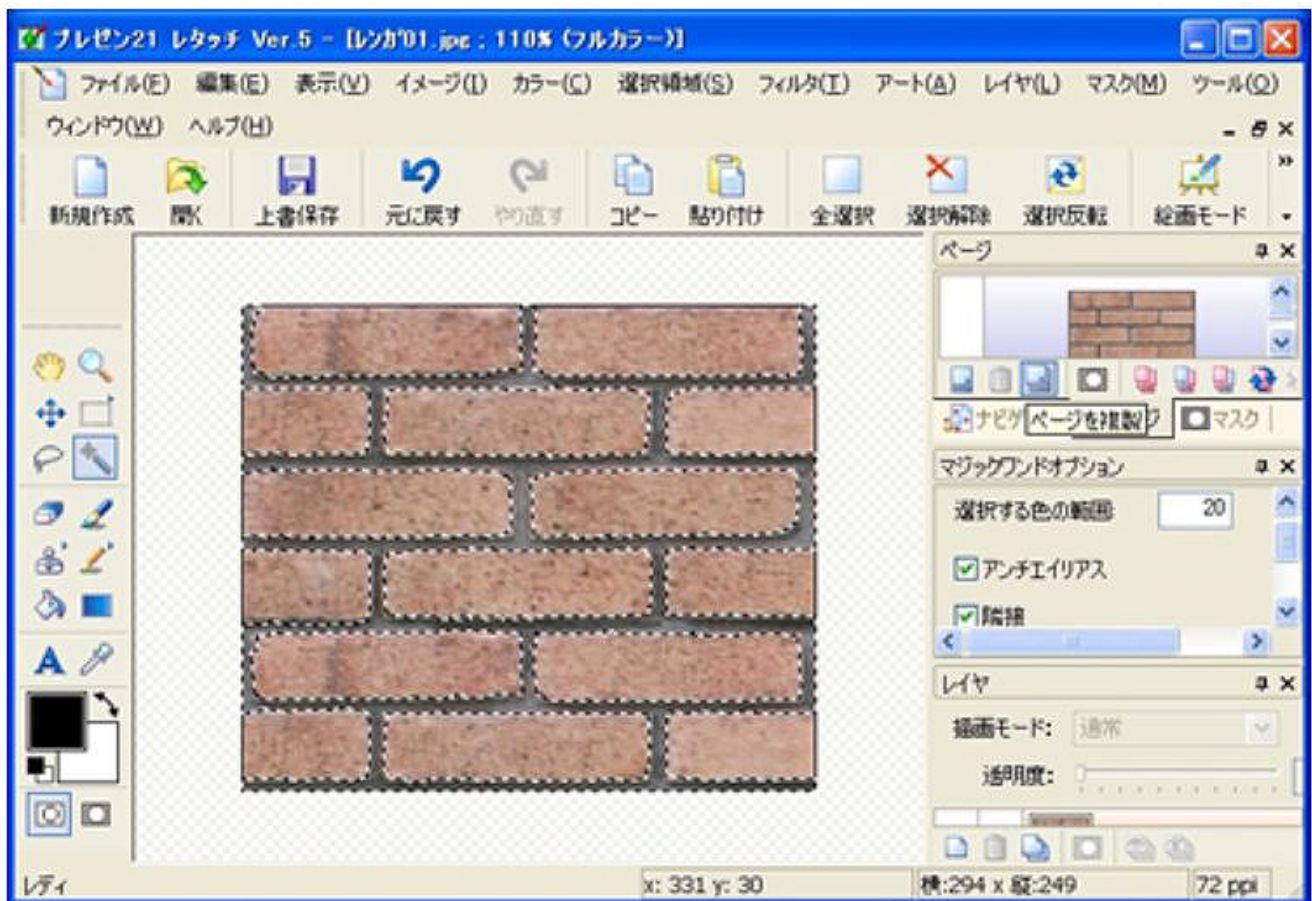
を選択し、目地部分でクリックします。（目地のみが選択されます）
シフトキーを押しながらクリックすると、追加選択が出来ます。

うまく選択出来ないときは、マジックwandオプションウィンドウの
「選択する色の範囲」の数字を調節します。

マジックwandオプションウィンドウが表示されていない場合は、マジックwand選択状態で
、「メニューバー」「表示」「サイドパネル」「ツールオプション」で表示できます。



目地がすべて選択出来たら、
「選択反転」ボタンをクリックします。（目地以外の部分が選択状態に変わります。）



材料・材質



「塗りつぶし」ツールを選択し、
「描画色を変更」ボタンの左上部分をクリックします。

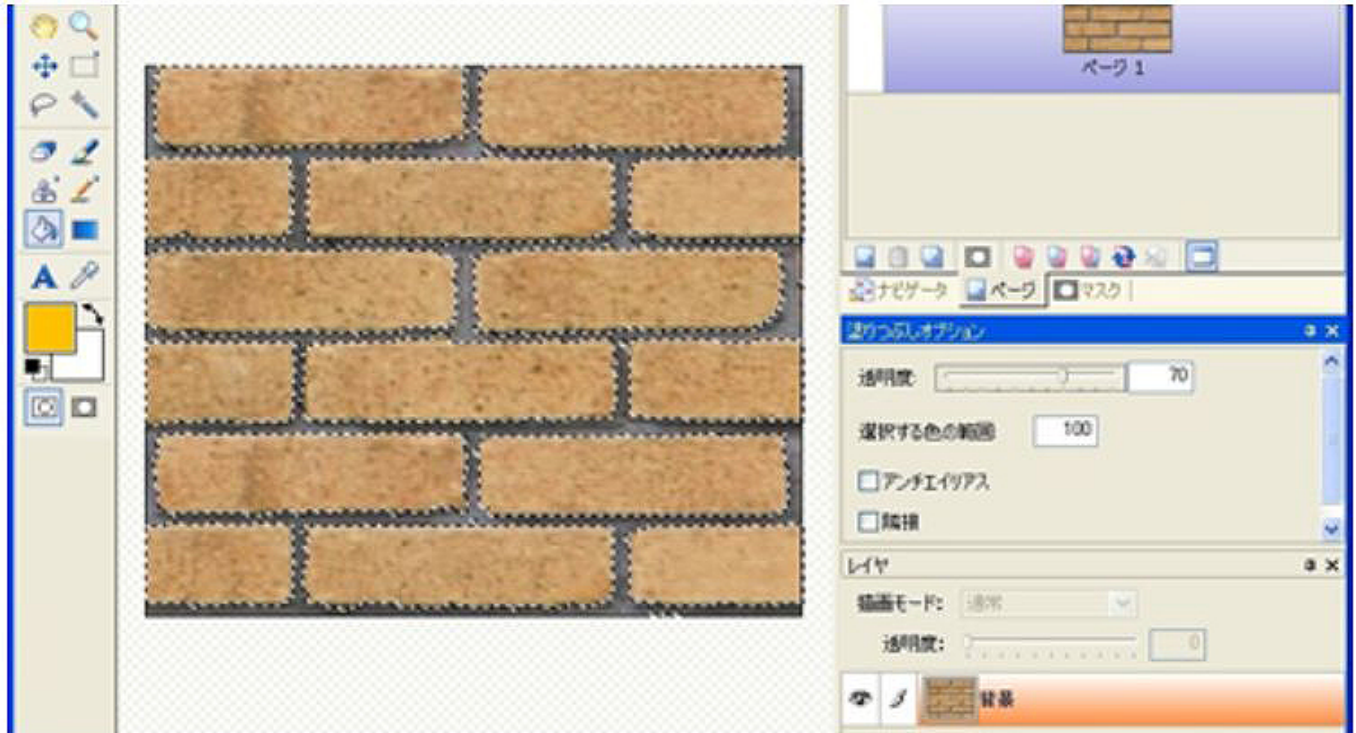
下の「色の設定」ウィンドウの中から任意の色を選択します。自由に設定することも可能です（ユーザー設定タブ）。



画面右側の、「塗りつぶしオプション」の透明度を「70」程度に、「選択する色の範囲」を「100～255」程度に設定し、「隣接」のチェックを外します。

レンガ画像の、選択部分の上でクリックすると着色されます。
(クリックを繰り返すと、再度着色されるのでご注意ください。)

材料・材質



透明度の数値は色の具合によって変更してください。
数値が大きくなると淡く、数値が小さいと選択した色がそのまま塗られます。

出来上がった画像に、名前を付けて保存します。

元画像への上書き保存は絶対にしないで下さい。



「メニューバー」「ファイル」「名前を付けて保存」をクリックします。
保存先は、「RIKCAD21ライブラリ」フォルダの中の「ユーザーオリジナル」フォルダにします。
「JPEG保存」のウィンドウが開きましたら、保存品質は「最高品質・低圧縮」のままOKをクリックします。以上でレタッチでの作業は終了です。

材料・材質



次は、RIKCADでの作業です。

RIKCADを再起動するか、
ライブラリの再ロードを行ってから、**関連項目**
材料の登録方法の の項目に進んでください。

関連項目

- [材料の登録方法 \(RIKCAD7\)](#)

一意的なソリューション ID: #1219

製作者: 亀田

最終更新: 2017-03-09 09:52